

東郷町における汚染井戸周辺地区調査結果について

東郷町大字春木の井戸でトリクロロエチレンが環境基準を超過した件（2024年10月28日公表）について、汚染井戸周辺地区調査を実施しました。

その結果、周辺にトリクロロエチレンの使用歴のある事業場は確認されなかったこと等から、原因の特定には至りませんでした。

県は、汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

1 調査結果の概要

トリクロロエチレンによる地下水汚染の範囲を確認するため、県は汚染井戸周辺にある井戸の水質を調査しました。調査を行った全ての井戸で環境基準に適合しており、周辺への地下水汚染の拡大は認められませんでした。

また、汚染原因について周辺を調査したところ、周辺にトリクロロエチレンの使用歴のある事業場は確認されなかったこと等から、汚染原因の特定には至りませんでした。

周辺井戸の地下水質調査結果（トリクロロエチレン）

調査地点	調査結果 [mg/L]	環境基準 [mg/L]	用途	採水年月日
東郷町大字春木	<0.001	0.01	工業用	2024年10月29日
東郷町大字春木	<0.001	0.01	その他 ^注	2024年10月29日

注：その他とは水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途を指す。

2 周辺の井戸所有者に対する情報提供

関係行政機関と連携して、井戸所有者等に対して情報提供等を実施しました。

3 今後の対応

県は、汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

参考

○トリクロロエチレン

高濃度のトリクロロエチレンを長期間取り込み続けると、肝臓や腎臓への障害が認められ、比較的low濃度では、頭痛、めまい、眠気などの神経系への影響が認められています。

発がん性について、国際がん研究機関（IARC）では、トリクロロエチレンをグループ1（人に対して発がん性がある）*に分類しています。

* IARC公表データを基に愛知県で修正しました。

（出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」）